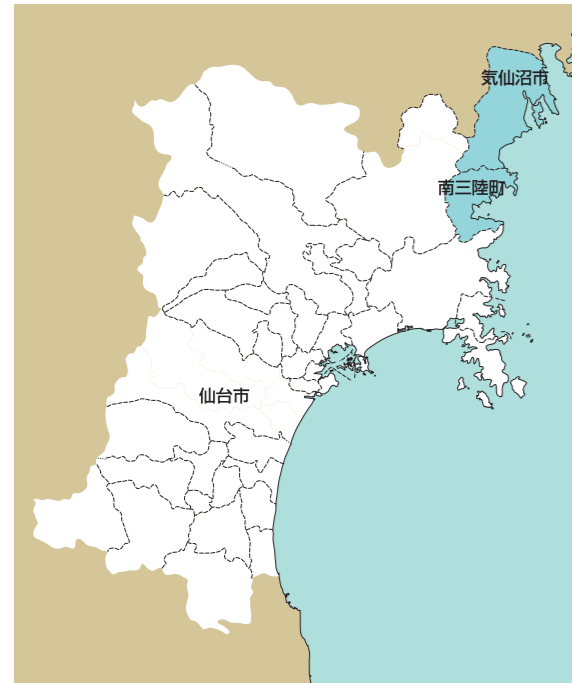


気仙沼・本吉エリア

気仙沼市 南三陸町



気仙沼・本吉エリアは、宮城県の北東部に位置し、気仙沼市、南三陸町の1市1町です。

気仙沼市では、離島・大島と本土を結ぶ「気仙沼大島大橋」の架設が完了し、住民の50年来の悲願達成に近づきました。完成は平成30年度末の予定です。また、気仙沼地域の医療拠点となる「気仙沼市立病院」が新築移転により開院。ヘリポートや免震構造など、災害時の拠点病院としての備えも強化されています。

南三陸町では、高台に再建された役場新庁舎が開庁しました。地元産の「南三陸杉」を使った木のぬくもりある新庁舎は、自然光をふんだんに取り入れるなど、来庁者が気軽に、快適に過ごせるような工夫が施されています。

いずれの市町も、昨年(平成29年)までに災害公営住宅の整備が完了するなど、住民の生活基盤の整備が進んでいます。

□気仙沼・本吉エリア

	地域合計	県内合計
死者	1,836人	10,564人
行方不明者	426人	1,225人
全壊	11,626棟	83,003棟
半壊	2,749棟	155,130棟

(平成30年2月28日現在)

□応急仮設住宅入居者数

	平成24年4月	平成30年2月
プレハブ住宅	14,085人	675人
民間賃貸借上住宅	4,944人	201人
計	19,029人	876人

(平成30年2月28日現在)

□災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成29年2月	平成30年2月
計画戸数	2,825戸	2,825戸
着手戸数	2,825戸	2,825戸
完了戸数	2,321戸	2,825戸

(平成30年2月28日現在)



地元産「南三陸杉」をふんだんに使って再建した南三陸町新庁舎(南三陸町)



気仙沼市の離島・大島と本土を結ぶ気仙沼大島大橋の架設が完了
平成30年度末完成予定(気仙沼市)

気仙沼・本吉エリアの定点観測

気仙沼市鹿折地区

津波により多くの建物が流失しましたが、災害公営住宅が建設され、新たなまちの形ができてきました。



被災直後

提供：気仙沼市



被災から7年後

気仙沼市本吉町小泉地区

津波が川をさかのぼり、山間の地域まで被害が及ぼされました。現在も、堤防等の復旧整備が進められています。



被災直後

提供：気仙沼市



被災から7年後

南三陸町志津川地区

中心市街地を広く津波が押し寄せ、大きな被害を受けました。現在も、かさ上げ工事が進められ、日々まちの姿が変わり続けています。



被災直後

提供：南三陸町



被災から7年後

南三陸町歌津伊里前地区

平成29年4月に復興商店街「ハマレ歌津」が本設店舗としてオープンし、地域ににぎわいが戻りつつあります。



被災直後

提供：南三陸町



被災から7年後